

B 器械運動	ア マット運動	第1学年
	エ 跳び箱運動	第2学年

学習指導要領改訂に係る主な内容及び内容の取扱いの改善

「器械運動」については、従前どおり、「マット運動」、「鉄棒運動」、「平均台運動」及び「跳び箱運動」の4種目で構成するとともに、「内容の取扱い」に、第1学年及び第2学年においては、「マット運動」を含む二つを選択して履修できるようにすることを、第3学年においては、「マット運動」、「鉄棒運動」、「平均台運動」及び「跳び箱運動」の中から選択して履修できるようにすることが示されました。

1 マット運動・跳び箱運動で学習する視点で単元の目標を確認しましょう。

- (1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができるようにする。
- ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができるようになる。
- エ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができるようにする。
- (2) 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど、健康・安全に気を配ることができるようにする。

2 手順1～6に沿って「単元の評価規準」を作成し、指導内容を明確にしましょう。

手順1 内容の取扱いを踏まえ、年間計画に各単元を位置付けます。

本事例では、第1学年及び第2学年の内容の取扱いにおいて、「ア マット運動を含む二種目を選択して履修させること」としていることを踏まえ、第1学年でア マット運動、第2学年でエ 跳び箱運動を取り上げています。



年間指導計画①																																				
		前期															後期																			
		1学期										2学期					3学期																			
月		4月			5月			6月			7月		9月			10月		11月			12月		1月			2月			3月							
週		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第1学年	1	体づくり	陸上競技10 短距離走・ リレー5			保健4			水泳10			ダンス10			球技12 ネット型			武道10			陸上競技6 長距離走			球技13 ゴール型			保健12									
	2	4	ハードル走 5			器械運動8						体づくり3																								
	3	体育理論1																																		
第2学年	1	体づくり	陸上競技7 走り幅跳 び・走り高 跳び			保健8			水泳10			ダンス10			球技10 ベース ボール 型			武道10			球技10 ネット型			陸上競技6 長距離走			球技10 ゴール型			体づくり2						
	2	3	器械運動6																																	
	3	体育理論2																																		

手順2 2年間を見通して、指導事項をバランスよく配置します。

指導事項について、2年間の年間指導計画の2回の指導機会における実施時期や配当時間等を踏まえ、指導事項を配置します。

「知識及び技能」については、各種目ごとに指導する必要があるため、マット運動と跳び箱運動は2回の指導機会を取り上げます。このことから、例えば、運動の特性については、マット運動、跳び箱運動のそれぞれにおいて効率的に指導機会を設けるなどの工夫をしています。また、「思考力、判断力、表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」の指導事項は、「内容のまとめり（第1学年及び第2学年「B 器械運動」）」に対して示されていることから、意図的、計画的に配置します。

第1学年及び第2学年「器械運動」における2年間を見通して指導事項の配置

●…重点指導事項		①ア マット運動								②イ 跳び箱運動					
○…複数回での指導機会															
*…評価対象とせず指導する機会															
指導事項		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6
知識	1 器械運動の特性	●													
	2 成り立ち									●					
	3 技の名称や合理的な動き方のポイント		○	○	●						○	●			
	4 関連して高まる体力	*								*					
	5 発表会にはねらいや行い方がある								*						*
マ ツ ト 運 動	1 <接転技群> 基本的な技の一連の動きを滑らかに回る			*	●										
	2 <接転技群> 開始・終末姿勢、組合せの動きや手の着き方などの条件を変えて回る			*											
	3 <接転技群> 基本的な技を発展させて、一連の動きで回る			*											
	4 <ほん転系> 基本的な技の一連の動きを滑らかに回転する				*	●									
	5 <ほん転系> 開始・終末姿勢、手の着き方や組合せの動きなどの条件を変えて回転する				*										
	6 <ほん転系> 基本的な技を発展させて、一連の動きで回る				*										
	7 <平均立ち技群> 基本的な技の一連の動きを滑らかに静止する		*	●											
	8 <平均立ち技群> 姿勢、体の向きなどの条件を変えて静止する		*												
	9 <平均立ち技群> 基本的な技を発展させて、バランスをとり静止する		*												
跳 び 箱 運 動	1 <切り返し系> 基本的な技の一連の動きを滑らかに跳び越す									*	●				
	2 <切り返し系> 着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越す									*					
	3 <切り返し系> 基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越す									*					
	4 <回転系> 基本的な技の一連の動きを滑らかに跳び越す										*	●			
	5 <回転系> 着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越す										*				
	6 <回転系> 基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越す										*				
思 考 力 判 断 力 表 現 力 等	1 仲間の課題や出来映えを伝える						●								
	2 課題に応じた練習方法を選ぶ						*	*	*					●	
	3 学習した安全上の留意点を仲間に伝える								*						*
	4 分担した役割に応じた活動の仕方を見付ける								●						
	5 仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け、仲間に伝える														●
学 び に 向 か う 力 人 間 性	1 積極的に取り組もうとする					●									●
	2 仲間の努力を認めようとする							*			●			*	
	3 仲間の学習を援助しようとする							●					*		
	4 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする							*					*		*
	5 健康・安全に留意する	*	●							*					*